

## [9] 報道対応

### 1 役割分担

太平洋・島サミット開催に係る報道対応のうち、首脳会議や二国間会談など外務省主催事業については外務省が担当し、道は現場において外務省報道担当官をサポートした。

また、歓迎セレモニーや、知事主催昼食会、地元交流プログラムなど道が主催する事業については道が担当した。

なお、海外の報道機関については、道主催事業についても外務省職員の協力をもらいながら対応した。

道からは、広報広聴課からの7名を含む総勢12名の職員で報道対応にあたった。

### 2 取材記者登録

本サミットの取材に要する記者登録については、外務省から平成21年5月1日に各報道機関に配付した「第5回日本・PIF首脳会議(太平洋・島サミット)取材記者登録及び宿泊・ワーキングルーム希望調査」により行われた。道内の報道機関については、外務省と同じ調査書類を道広報広聴課が道政記者クラブ所属の各社に配付の上、各社が外務省に直接手続きを行った。

また、報道関係者が使用する車両の登録については、5月16日に車両証取得希望の調査を行い、外務省が車両証を発行した。

なお、太平洋・島サミット歓迎実行委員会が手配した公式記録員2名は、外務省との調整の結果、道関係者と同じIDの発給を受けた上で、腕章を着用して取材にあたることとした。

占冠村についても、外務省と調整の上、道の公式記録員と同様の手続きをとって取材にあたることとした。

### 3 事前説明

5月13日に、報道関係者向けに総理官邸で行われた「記者勉強会」の資料を、同日付で道政記者クラブに配付し、5月15日に、外務省の岩間大洋州課長が、道政記者クラブ関係者に、本サミットの会議内容に関する事前の説明を行った。報道関係者からは、サミット当日の取材方法に関する質問が多く出された。

5月19日に、夫人プログラムを含む外務省主催事業や道主催事業について、取材位置などに関する警備当局との事前調整を済ませた上で、外務省と道から報道機関にそれぞれ取材要領を配付の上、当日の取材希望の取りまとめや代表取材を行う報道機関の決定など調整を行った。

### 4 当日の報道対応

外務省がホテル内に設置したプレス・ワーキングルームやブリーフィングルーム、報道担当官室が報道関係の拠点となり、報道関係者は、各行事(空港等、ホテル以外のエリアで行われた行事を除く)の取材を行う際、プレス・ワーキングルーム前に集合し、受付や金属探知機によるチェックを済ませた上で、専用バスで各行事会場へ移動した。取材現場では、行事

会場の状況に応じて、スタンションポールや取材台を設置するなどしてエリア規制等を行うとともに、音声分配器を設置するなどして、報道機関の取材に対応した。

また、首脳や首脳夫人と地元との交流の様子などを適時に伝えるため、各日1回、知事への取材機会を設けるとともに、現地での全ての行事終了後に、知事の臨時記者会見を開催した。

【行事等と報道対応】

月日	行 事	担当	報道対応等	
5月22日(金)	PIF首脳 とかち帯広空港到着歓迎セレモニー	道	1社1カメ、取材台設置	
	総理大臣 とかち帯広空港到着歓迎セレモニー	道	1社1カメ、取材台設置	
	PIF首脳 トナム到着歓迎セレモニー	道	代表取材	
	総理大臣 トナム到着歓迎セレモニー	道	代表取材	
	二国間会談	外務省	冒頭、代表取材	
	写真撮影	外務省	1社1カメ	
	首脳会議(第1セッション)	外務省	冒頭、代表取材、1社1ペン	
	夫人プログラム	着物体験	外務省	代表取材
		着物モダン・リメイク・ファッションショー	外務省	代表取材
		茶道体験	外務省	取材不可
知事による取材対応	道			
総理主催晩餐会	外務省	挨拶まで、代表取材、1社1ペン		
5月23日(土)	首脳会議(第2セッション)	外務省	冒頭、代表取材	
	首脳会議(第3セッション)	外務省	取材不可	
	首脳会議(閉会セッション)	外務省	取材不可	
	夫人プログラム	アイヌ民族舞踊体験	外務省	代表取材
		巻き寿司づくり体験	外務省	取材不可
	知事による取材対応	道		
	共同議長記者会見	外務省	1社1カメ	
	北海道知事主催昼食会	道	1社1カメ、取材台・音声分配器設置	
	地元交流プログラム	道	1社1ペン、代表取材	
	総理大臣 とかち帯広空港出発見送り	道	1社1カメ、取材台設置	
PIF首脳 とかち帯広空港出発見送り	道	1社1カメ、取材台設置		
知事臨時記者会見	道			